

遮断機式伸縮手すり

施工説明書 BF-101

お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

遮断機式伸縮手すりは手すりを連続して取付けるための部材です。安全に使用していただけるよう、またトラブルの無い確実な取付けをしていただくためにも、施工の際によくお読みいただき以下の事を必ずお守りください。

施工上の注意

- 当製品は室内用です。屋外および浴室には使用できません。
- 木製手すり棒と連続してご使用になる場合は必ず35シリーズ・32シリーズのブラケットをご使用ください。
- 連続手すりはBAUHAUS φ35、φ32手すり棒兼用です。BAUHAUS φ35手すり棒をご使用の場合は、予め嵌め込んであるφ32アダプターを取りはずしてご使用ください。BAUHAUS φ32手すり棒をご使用の場合はφ32アダプター、スペーサーをご使用ください。
- ブラケットピッチは900mm～1200mmです。
- 下地の無い場合は下地補強をしてください。
- ドアの錠前などが手すりに当たる場合は、壁にベースプレートを取付けて、ブラケットの出寸法を変えてください。
- 40°を超える傾斜部では、ご使用にならないでください。
- 傾斜部でご使用になる場合は、軸側ブラケット横受けが必ず傾斜下部になるよう取付けてください。



警告 !外開き扉部分に使用されますと、閉じ込め事故等が起こる恐れがありますので絶対にしないでください。
!この商品は手すり棒先端のキャッチソケットが受側ブラケットに確実にセットされている時に強度が保持されます。受側ブラケットにセットされた時には、毎回確実にセットされていることをご確認ください。
!手すり棒(太)を軸側ブラケット横受け、キャッチソケットから取りはずさないでください。
!手すり棒(太)をカットしないでください。
!受側ブラケットからはずされた時に手前に引っ張るなどの力がかかると壊れる恐れがありますので絶対にしないでください。
!軸側ブラケット横受けに潤滑剤を塗布されますと作動不良の原因となりますので絶対にしないでください。

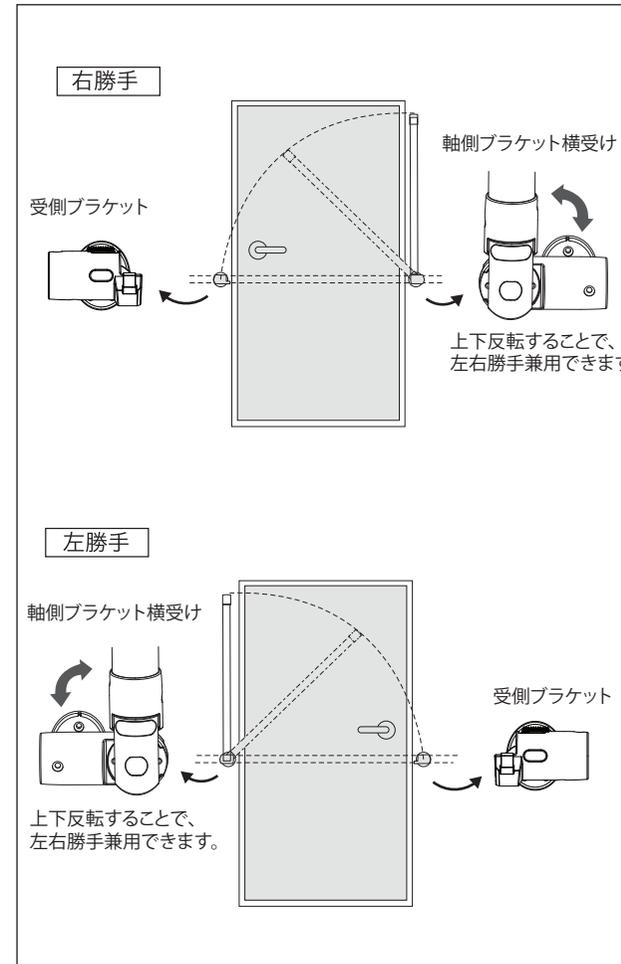
遮断機式伸縮手すり[BF-101] 梱包部品図

1 受側ブラケット 左右兼用タイプ 六角穴付きM6ボルト ラッチソケット ばね座金 脚金具 ラッチソケットキャップ 図は右勝手 2個入	2 軸側ブラケット横受け・手すり棒・キャッチソケット 左右兼用タイプ キャッチソケット 手すり棒(細) φ30 手すり棒(太) φ36 軸側ブラケット横受け 脚金具 ※キャッチソケット・手すり棒・脚金具は取付け済み 2個入	3 エンドキャップ 2個入	4 φ32アダプター ※出荷時は受側ブラケット、軸側ブラケット横受けにセットされています。 2個入	5 スペーサー 厚さ 4mm 2枚入	6 ブラケット取付けねじ ※取付の際には壁にφ3程度の下穴を空けてください。 ⊕丸皿タツピンねじ3.5×40 8本入	7 手すり取付けねじ ※取付の際にはφ3程度の下穴を空けてください。 ⊕丸皿タツピンねじ3.5×20 5本入	8 六角棒スパナ 呼び2.5 1本入 9 六角棒スパナ 呼び5 1本入
---	--	-------------------------	--	---------------------------------	--	--	--

遮断機式伸縮手すり 梱包部品一覧

番号	部品名	仕様	数量
1	受側ブラケット(ラッチソケット・脚金具)	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
	受側ブラケット(ラッチソケットキャップ)	POM	1個
2-1	軸側ブラケット横受け(脚金具)	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
2-2	キャッチソケット	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
2-3	手すり棒(太)	被膜 半硬質樹脂 芯材 アルミパイプ	1本
2-4	手すり棒(細)	被膜 半硬質樹脂 芯材 アルミパイプ	1本
3	エンドキャップ	ABS	2個
4	φ32アダプター	ABS	2個
5	スペーサー	ABS	2枚
6	ブラケット取付けねじ ⊕丸皿タツピンねじ3.5×40	鉄製	8本
7	手すり取付けねじ ⊕丸皿タツピンねじ3.5×20	鉄製	5本
8	六角棒スパナ 呼び2.5	鉄製	1本
9	六角棒スパナ 呼び5	鉄製	1本

遮断機式伸縮手すり 取付け勝手参考図



受側ブラケット 組立て手順

取付け勝手に合わせて受側ブラケットを組立ててください。

- ①左右勝手を決めます
- ②脚金具を六角穴付きM6ボルトで固定します
- ③ラッチソケットキャップを嵌めます

図は右勝手

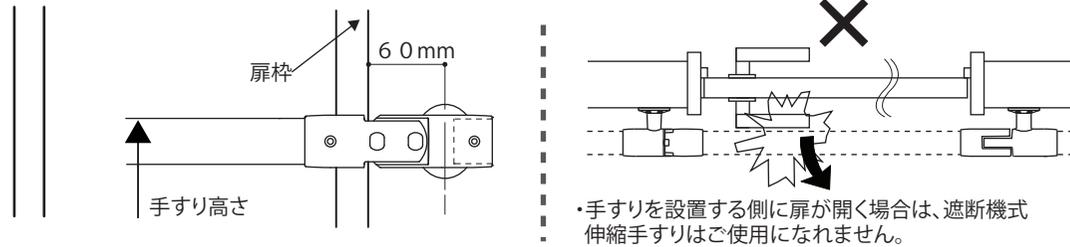
注意 六角穴付きM6ボルトは確実に締め込んでください。確実に締め込めていない場合、使用時ケガにつながる恐れがあります。

施工手順

お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

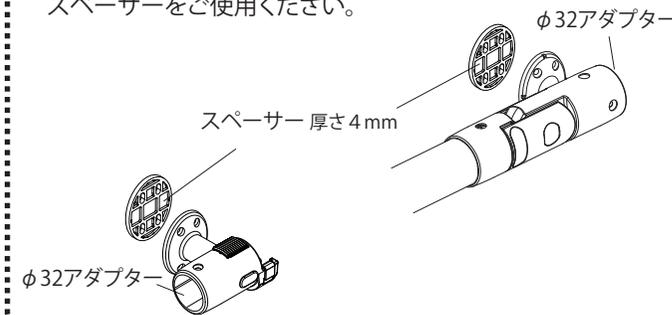
1. 軸側ブラケット横受けを取付けます。

- 扉枠からブラケットのセンターピッチで60mm以上取ってください。
 注) 手すりを設置する側に扉が開く場合は、閉じ込めの原因となりますので、遮断機式伸縮手すりをご使用にならないでください。
 注) 廊下等の横手すりと連続で使用される場合は、その高さに合わせてください。



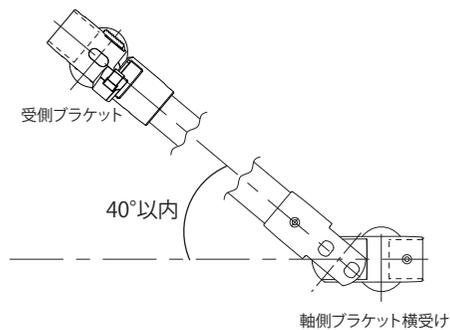
■ φ32手すり棒を取付ける場合

- φ32アダプターを外さないでください。
- 連続手すり側にBAUHAUS φ32手すり棒を使用する場合はスペーサーをご使用ください。



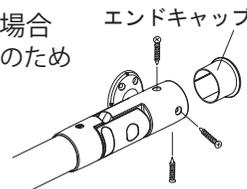
■ 傾斜部に取付ける場合

- 40°を超える傾斜部ではご使用にならないでください。
- 軸側ブラケット横受けが必ず傾斜下部になるよう取付けてください。

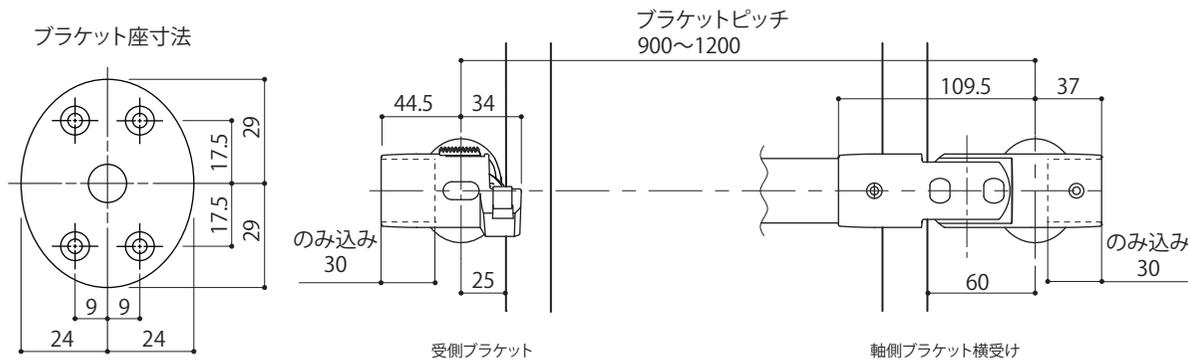


■ 連続手すりとして使用されない場合

- エンドキャップを取付け、脱落防止のため必ずねじ止めしてください。



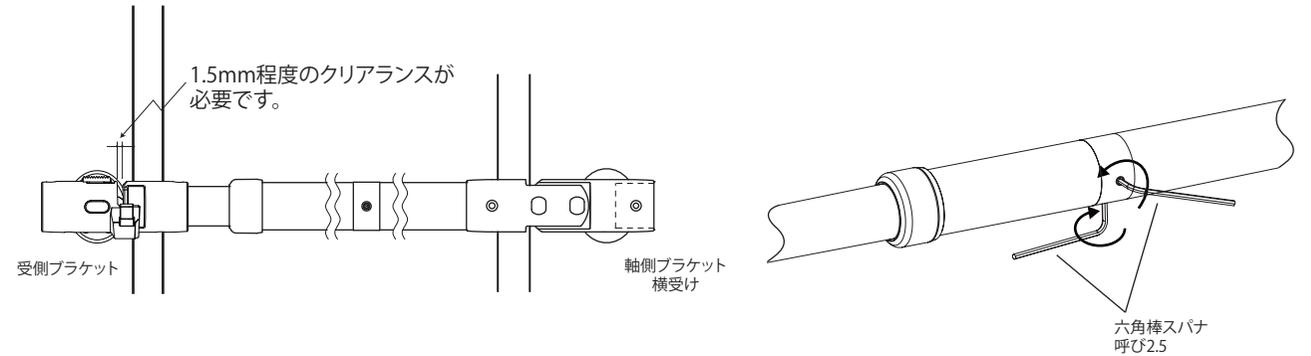
2. ブラケットピッチ900~1200mmの範囲で受側ブラケットを取付けます。



(単位:mm)

3. 手すり棒の長さを調整します。

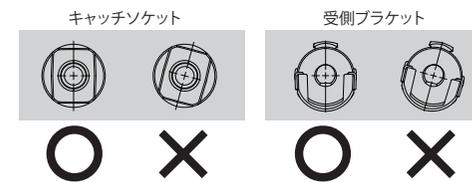
- 手すり棒(太)の六角穴付き止めねじ(2箇所)を付属の六角棒スパナ呼び2.5で緩めます。手すり棒(細)をスライドさせキャッチソケットと受側ブラケットのクリアランスを1.5mm程度取り、手すり棒(太)の六角穴付き止めねじ(2箇所)をしっかりと締めます。



◎注) 手すり棒(細)の長さ限界マークが見えないようにしてください。



◎注) キャッチソケットと受側ブラケットは必ず垂直にセットしてください。斜めにセットするとラッチの噛み込みなどの誤動作の原因となります。



4. 各部品がしっかり固定されているか、ロックが掛かるか、動作確認を行ってください。

お問い合わせ先



〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
 TEL.06-6774-2255 FAX.06-6774-2248
<http://www.mazuroc.co.jp/>